

2012年度一般社団法人日本液晶学会第1回理事会 議事録

日時：2012年9月7日（金）12：30～15：45

場所：千葉大学 西千葉キャンパス 会議室2（F号館3階 F-32）

出席：

（2011年度理事）清水 洋、藤掛英夫、宮下哲哉、小村真一、一ノ瀬秀男、安武幹雄、沓水祥一
（2012年度理事）中村尚武、高津晴義、菊池裕嗣、川月喜弘、森武 洋、多辺由佳、石原將市、
高頭孝毅、氏家誠司、遠藤秀幸、能勢敏明、分元博文、海田由里子、木村宗弘、平野幸夫

欠席：

（2011年度理事）真崎仁詩、
（2012年度理事）奥村治彦、陶山史朗

オブザーバー：諸星宗一（（株）アドスリー、事務局）

議事

1) 会長と副会長の選出・承認について（承認）

会長 中村尚武、副会長 奥村治彦、副会長 高津晴義とする。

2) 理事の担当確認について（承認）

3) 理事会の開催スケジュールの確認について

総務委員会：理事会開催について、前年度より理事会の開催時期の見直しを行う。

第3回及び第4回を統合し一つにまとめる。第6回をメール審議にて行う。（承認）

4) 各委員会の課題確認及び審議事項

総務委員会：スケジュールの再構築を行う。定款についても学会の活性化のために見直す必要がある。

事業内容の見直し、会員種別についても見直しを検討している。国際化にむけて新たに委員会を設けたい。代議員選出は、賛助企業から選出してもらうなど、新しい選出システムが必要。選奨委員会の設置について学会賞の選考や外部の賞への推薦を一元的に担える強力な委員会を年初に立ち上げる。学会賞に併せて名誉会員の推薦も担えると良い。

将来ビジョン検討委員会について、菊池総務担当理事及び一年目の各理事が委員となり、メールもしくは理事会開始前に委員会を行いたい。アドバイザ会議について、出席委員が少ないので学会重鎮OBが参加・発言しやすい環境が必要。

学会事務局のサポート体制及び機能の強化について、契約内容の見直しを含め検討していきたい。

財務委員会：現在、会計士については、2013年6月までの契約となっているが、契約解除も視野に入れて抜本の見直しをする必要がある。2013年度の予算の修正、及び2014年度予算の策定、会計監査についての大きなスケジュールの説明がなされた。2012年度中に予算の消化状況について、会計監査終了後にならないと判明しない、という状況を避けるための方法を検討したい。

編集委員会：記事数を減らし、ページ数を削減（80ページ以内）する方向で編集作業が進んでいる。実際に機能するのは、2013年7月号からとなる。新委員数の削減については、2013年1月以降は

従来より2割削減での委員構成となる。学会誌について年4回の発刊を、年3回にすることは理事会の承認を得られれば可能である。学会誌への広告掲載数を増やすことによって収入増加に繋げることが出来るのではないかと考えている。

情報委員会：討論会予稿のWeb掲載について、J-Stageの更新によって従来の方法での予稿集公開が出来なくなった。J-Stage 3の利用は可能であるが、具体的にどう取り扱うかについて検討する必要がある。Webの充実、英文情報の充実について、現状必ずしも扱いやすくないという意見があるので問題点を洗い出して検討する必要がある。Webの有効活用について、経費削減の中で従来の印刷物、郵送物をWeb化する場合の対応を検討する必要があると思われる。情報委員会の在り方について、役割等について再確認が必要な時期かと思われる。

[審議事項] 2012年度情報委員会委員について（承認）

委員：能勢（秋田県立大）、分元（JDC）、石川（東工大）、森武（防衛大）、小村（JDE）、城田（理研）、木村（長技大）、伊達（NTT）

行事委員会：サマースクールの開催地について、昨年同様むさしのグランドホテルを使用する方向で進んでいる。討論会について、講演会をなくし3日間の開催となり、受賞講演を盛り込み（旅費・謝金が不要となる）業績賞（2012年度）2件、業績賞（2013年度）2件、奨励賞1件合計5件の講演を原則行うことにする。推薦による追加講演（2件程度）については謝金が発生する形になる。2013年は7件の講演を行いたい。

[審議事項] 総会開催日を討論会2日目にする件について（継続審議）

理事会開催と討論会開催の時期が重なる件について（継続審議）
補助金が出る場所での開催について（継続審議）

会員委員会：会員の増強・会員区分・学生会員の細分化（学会誌を送付する会員と送付しない会員の差別化）について今後の検討課題となっている。また、退会する会員をどう繋ぎとめるかについても今後の検討課題となっている。新規賛助会員の掘り起こし、及び賛助会員に在籍する方を正会員に新規入会いただく方法を検討している。

研究会委員会：液晶ディスプレイ研究フォーラム／液晶フォトンクス・光デバイスフォーラム合同講演会は10月5日に東陽テクニカ本社（東京）にて開催される。

行事「生体とメゾスコピックな秩序構造と機能」は液晶物理・物性フォーラムとソフトマターフォーラムの共催研究会となる。勉強会が10月19日に弘前大学にて開催される。フォーラム講演会の準備金の使い方、予算の立て方、会費の金額設定等について検討課題となっている。

[審議事項] 2013年の講演会参加費を「無料（0円）」にする件について（承認）

5) その他

1. [審議事項] I L C C 日本開催に伴う、準備委員会の設置について（承認）

2. 賛助会員へのお礼状、及び書籍「液晶科学実験入門」の送付について（承認）

3. 委嘱状の発行について
4. 第2回理事会の開催について 11月17日（土）11：00～ 開催予定。
5. 役員メーリングリスト「jlcs12n」の作成について

（別紙資料）

役員名簿	資料 2012 年度-01-1
年間スケジュール	資料 2012 年度-01-2
総務委員会の引き継ぎ事項	資料 2012 年度-01-3
日本液晶学会理事会用参考資料	資料 2012 年度-01-4
編集委員会	資料 2012 年度-01-5
情報委員会	資料 2012 年度-01-6